



# Jissen Topics

社会とつながる、世界へひらく。実践女子学園の今をお届けします。

実践女子学園が進める「社会連携」「グローバル化」の取り組みを紹介。創立者 下田歌子の「女性が社会を変える、世界を変える。」という精神を体現する学生・生徒たちの学びと挑戦する姿をお伝えします。

大学 社会連携 #メニュー開発 #地域活性化 #日野

TOPICS

01

## 学生が江戸時代の献立書をもとに「下諏訪宿本陣 EDO BENTO」を開発！ お披露目会が長野・下諏訪町で開催されました！

学生の試作品が地元の料理人の手で磨かれ、完成品に。

江戸時代に日本全国を測量した伊能忠敬が宿泊した下諏訪宿本陣岩波家で10月8日、食生活科学科の学生が本陣に伝わる「献立書」をもとに開発した「下諏訪宿本陣EDO BENTO」のお披露目会が開かれました。お披露目された弁当は3種類。学生たちが試作した弁当をもとに、地元の武居章彦さん（「二十四節氣 神楽」店料理長）が、江戸の食文化の特徴である「素材の持ち味を生かす」考えを踏襲しつつ、プロの料理人の目で現代の食文化に合わせ味を整え、見た目にも華やかに仕上げたものです。完成したお弁当を試食した約20人からは、「彩りがよく、手が込んでいる」「地域に誇れる弁当になると思う」といった声が寄せられました。「EDO BENTO」開発は、単なる再現にとどまらず、地域と大学が協働する新しい学びのモデルにもなりました。この取り組みは、後輩へと引き継がれ、改良を重ねながら「食による地域連携」をさらに広げていく考えです。



DATA：【関連学科】食生活科学科（2026年4月から食科学部）

詳細はこちら



1 参加者全員で記念撮影 2 お披露目会の様子 3 「下諏訪宿本陣EDO BENTO」(3種類)

江戸時代の食文化に興味を持ち、このプロジェクトに参加しました。完成したお弁当はプロの料理人のアレンジで見た目も味も洗練されていて感動しました。地域の方と関わるうちに、「観光客にこのお弁当を届けたい」「下諏訪の力になりたい」と強く思うようになりました。自分たちの学びが社会に役立つことを実感し、視野が広がった貴重な経験でした（食生活科学科 食物科学専攻 4年 小澤友唯さん・山崎結花さん）



ご指導いただいた佐藤幸子先生と

大学 社会連携 #グッズ開発 #商品化 #JWP #渋谷

TOPICS

02

## 学生たちがサンリオとのコラボ企画に挑戦！ 大学オリジナルグッズを制作・販売しました



DATA：【関連企業】株式会社サンリオ

詳細はこちら



サンリオ人気キャラクターとのコラボによるオリジナルグッズを開発しました。この取り組みは、2025年5月より始動した課外プロジェクト「JWP（実践ウェルビーイングプロジェクト）」の一環として行われ、学生が主体となって企画から制作、販売までを担当。「何をつくるか」「どのキャラクターと組むか」「大学の魅力をどう反映させるか」など議論を重ねながら企画を進めました。プロジェクトを通して、学生は「相手に何かを届ける、自分の意見を伝えるという点で成長できた」「多くの人と関わり、活発に意見交換やアイデアをもらえたことは、大きな財産になった」と振り返っていました。実際の完成したクリアファイルは常磐祭で販売され、来場者からは「かわいい！」と声を掛けられる場面もありました。学生たちは自分たちの企画が形になり、多くの人の手が届く喜びを実感した様子でした。

中学校・高等学校 グローバル #海外研修 #異文化体験 #中高

TOPICS

03

## 異文化を体験し、自分の世界を広げた2週間！ 中学3年生と高校1・2年生が海外研修に参加



モートンベイ海外研修  
ブリスベン海外研修

中学3年生は、11日間（7月30日～8月9日）、オーストラリアのブリスベンにある州立のThe GAP Schoolで研修を行いました。ホストファミリー宅から通学し、スクールパディとオーストラリアの文化、教育、食文化、生態系を学ぶ特別授業へ参加したり、カフェやスーパーでの買い物実習などを体験しました。高校1・2年生は、オーストラリアのモートンベイにあるBurnside State High Schoolで、14日間（8月3日～8月16日）の研修を行いました。オーストラリアの海洋生物について学び、Alexandra Headlandのビーチでは実地調査を行うなど、とても充実した様子でした。どちらの研修でも、生徒たちは異文化の中で学校生活とホームステイを経験し、日常では得られない学びに触れる貴重な時間を過ごしました。本校では、このほかにも高校1,2年生対象のニュージーランド研修（16日間）、高校2年生対象のアデレード海外研修（約10週間）などさまざまな海外研修を実施しています。

中学校・高等学校 社会連携 #SDGs #産学連携 #中高

TOPICS 04 「届けよう“服のチカラ”プロジェクト」に参加！  
ときわ祭で子ども服を回収しました！



株式会社ファーストリテイリングが展開する「届けよう“服のチカラ”プロジェクト」として、ときわ祭で子ども服の回収を行いました。ときわ祭に先立ち、生徒たちは7月に株式会社ファーストリテイリングの出前授業を受け、難民問題や衣服が果たす役割について理解を深めました。その学びを受けて、秋にはユネスコ委員が常磐松小学校で出前授業を行い、本取り組みへの協力も呼びかけました。こうして集ま

った子ども服は、難民の子どもたちへの支援に役立てられます。このように、生徒たちには社会課題に主体的に向き合う姿勢が育まれています。

ユネスコ委員のコメント

今回の“服のチカラ”プロジェクトでは、本校での収集活動だけでなく、隣接した常磐松小学校にも協力をお願いしました。実際に小学校に行き、小学生にも分かりやすいワークショップを行いました。難民を題材とした劇や、避難をテーマにしたグループワークを行い、難民の現状だけでなく支援の大切さも伝えました。また、私たち自身もこのような収集活動を行う中で、難民支援についての理解が深まり、幅広く支援の輪を広げていく大切さを感じました。

DATA:【関連企業】株式会社ファーストリテイリング  
詳細はこちら

大学 グローバル #JWP #異文化理解 #渋谷

TOPICS 05 映画『モアナと伝説の海』の舞台・フィジーに  
ウェルビーイングを学ぶ！



実践ウェルビーイングプロジェクト(JWP)の一環として、南太平洋の島国・フィジーの幸福文化を学ぶプログラムが11月22日、渋谷キャンパスで開催されました。映画『モアナと伝説の海』の背景にも通じる南太平洋の文化を切り口に、フィジーの人々の暮らしに根付く価値観や幸福観について学びを深めました。講師からは、「幸せ=A×B」という幸福の考え方とともに、「つながり」「共有」「テキトー」「現在にフォーカス」というフィジーの4つの習慣が紹介され、幸福度の捉え方や、日常の中で幸せに気付く視点について理解を深める内容が示されました。身近な生活や人との関わりを振り返りながら、異文化を通じて自分自身の生き方やウェルビーイングを見つめ直す機会となりました。

フィジーの人々が大切にしている4つの幸福の習慣は、直感を信じて行動する姿勢や柔軟な考え方を象徴していると感じました。感じたことを周囲と共有し、前向きに行動することが幸福につながるという視点は、新たな気づきとなりました。フィジーの人々の「テキトー」に込められた柔軟さを、これからの日常の選択や行動の中でも大切にしていきたいです(英文学科2年・藤本紗葵さん)

学生コメント

大学 グローバル #メニュー開発 #商品化 #J-mission #日野 #渋谷

TOPICS 06 社会をつなぐ一粒の想い  
本学学生が「おにぎりアクション2025」に参加しました！

1か月以上かけて開発した4種の「オリジナルおにぎり」を披露！

NPO法人TABLE FOR TWO International(TFT)が主催する「おにぎりアクション2025」に有志の学生8人が参加しました。「おにぎりアクション」とは、おにぎりの写真投稿を通じて、アフリカ・アジアの子どもたちに給食を届ける国際的な社会貢献プロジェクト。10月7日、東京都品川区のゲートシティ大崎で開催された記者発表会で、1か月以上かけて開発したオリジナルおにぎりを紹介しました。今年度のテーマである「つながり」のもと、国内チームは「人参りしりと鮭のおにぎり」「十六穀米使用 ツナタルタルのせカツおにぎり」を、グローバルチームは「さつまいもとカシューナッツ入り味噌焼きおにぎり」「だしとまいたけのトマニョタ炊き込みおにぎり」を多くの報道関係者の前で紹介しました。開発した4種類のおにぎりは、10月17日まで期間限定で「雨晴食堂」で一般販売され、学生たちが考えたレシピが商品化される貴重な機会となりました。



1 学生が開発した4種類のおにぎり 2 記者発表の様子 3 記者発表会に参加した学生たち

食品開発に興味があり、このプロジェクトに参加しました。「つながり」というテーマや協賛企業のビジョンをレシピに反映させるのには苦労しましたが、無事形にできたことをうれしく思います。(食生活科学科食物科学専攻3年・田中見奈さん)

将来は企画職を目指していて、この活動に参加しました。チラシやフォトスポットのデザインを担当し、おにぎり開発だけでなく多方面から盛り上げられたことに達成感を感じています。(美学美術史学科3年・伊藤有莉さん)

学生コメント

学生コメント

DATA:【関連企業・団体】NPO法人TABLE FOR TWO International(TFT)【関連学科】食生活科学科(2026年4月から食科学部)の学生はじめ有志の学生8名が参加

